

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会  
2021年度第1回理事会議事録

日時：2021年6月17日（木） 14時00分～16時40分

場所：埼玉会館およびweb開催

出席： 理事長 石田秀行  
副理事長 青木 大輔(web参加) 鈴木 眞一(web参加)  
理事 赤木 究 石川 秀樹 大住 省三(web参加) 川崎 優子(web参加)  
下平 秀樹(web参加) 杉本 健樹(web参加) 田中屋宏爾(web参加)  
田村智英子(web参加) 平田 敬治(web参加) 吉田 輝彦(web参加)  
監事 武田 祐子(web参加) 田村 和朗(web参加)

司法書士 寺本 俊孝 (web参加)

事務局：平田智子(web参加) 石坂和子(web参加) 内山覚巳

編集部：岡田雅子(web参加)

・会場およびWebに理事13名、監事2名全員が出席し、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態にあり、本会が成立することが確認された。また、飛松由紀子氏に感謝状が贈呈され、また同氏に特別アドバイザーが委嘱された。

## 【報告・審議事項】

### 1. 理事長報告

石田理事長より当日供覧資料にもとづき、学会業務委託移行の進捗状況、会員管理システムの運用開始、オンライン論文投稿システムの運用開始、理事・委員長・小委員長へのZOOMアカウントの配布、AMED溝上班最終報告書提出、遺伝性腫瘍に関する遺伝学的検査の保険収載に向けた内保連からの説明会、第27回学術集会・令和3年度評議員会に関する最終決定に関する事項、各種委員会への具体的な提案・指示、大阪未来医療推進機構との面談、に関して報告された。

### 2. 庶務報告

事務局から配布資料にもとづき、会員数、新規入会者、会費納入状況（2021年5月31日現在）について資料提示・説明があった。

### 3. 各種委員会報告・審議

#### ①総務委員会：平田担当理事

会員管理進捗状況について報告があった。学生会員の取り扱いについて、学生証の提出や、医師免許証取得済の学生会員に関して検討中であると報告された。入会申込みについて、今後WEBから出来るように準備中であり、WEB上で評議員の推薦が得られるようなシステムが構築できるのであれば、10月開催予定の理事会前に通信理事会審議とする。

当日供覧資料にもとづき、2022 年度理事選挙日程に関して報告があり、第 2 回理事会までに理事長より選挙管理委員会の委員長 1 名、委員 2 名の推薦をすることとなった。WEB 投票に関しては実績がまだないため、従来通りの運用予定であると報告された。

②財務委員会：青木担当理事

配布資料にもとづき、2020 年度一般会計、特別会計のそれぞれ財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書が報告された。武田監事・田村監事から、会計監査について、帳簿、諸書類を照合の結果、相違ないことが報告された。

学術集會会計の一本化について再度検討をし、2021 年度第 2 回理事会にて方向性を報告することとなった。

③編集委員会：下平担当理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況、オンライン査読システムの導入について報告された。

④会則委員会：鈴木担当理事

定款・定款細則・COI 開示に関する指針の改定について報告された。なお、学会業務委託の移行に伴い、主たる事務所を 2021 年 6 月 17 日より「東京都中野区中野二丁目 2 番 3 号」に移転することが承認された。

⑤学術・教育委員会：赤木担当理事

遺伝性腫瘍の教育用講義として音声入り ppt「バリエーションの評価」3 本を、また今年度は、「遺伝性腫瘍ガイドラインの概要」についての教育用 ppt を 8 本作成し、今年度の学術集會期間中に配信予定であることが報告された。

⑥専門医制度委員会・HTC/FTC 制度委員会：田中屋担当理事・川崎担当理事

配布資料にもとづき、田中屋担当理事から第 4 回 2020 年度専門医認定試験結果、2021 年度専門医認定試験の予定、委員の退任について報告された。

審議事項として、細則の改定 第 2 条、委員補充、移行制度に関する経過措置期間の 2 年間延長について審議され承認された。

川崎担当理事より、遺伝性腫瘍コーディネーター、家族性腫瘍カウンセラーの認定状況について報告された。

審議事項として、遺伝性腫瘍コーディネーターへの移行措置に関する経過措置期間の延長について 1 年間延長することが審議され承認された。

⑦遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田担当理事

配布資料にもとづき、第23回遺伝性腫瘍セミナー（初のオンライン）開催最終報告、2021年度第24回遺伝性腫瘍セミナーの予定について報告された。また、今後もオンラインでセミナーを開催する方向であり、ロールプレイについては、事前に日程を決めて開催する予定であることが報告された。

審議事項として、遺伝性腫瘍セミナーに関する今年度のプログラム委員長に対する業務委託費用等について資料「遺伝性腫瘍セミナー委員会審議事項」に基づいて審議され、資料の内容が承認された。

⑧将来検討委員会：石田担当理事

ポストコロナの学会のありかたについて検討予定であることが報告された。

⑨ガイドライン委員会：大住担当理事

報告事項なし

⑩倫理審査委員会：杉本担当理事

配布資料にもとづき、学術集会演題応募に関するチェックリスト（素案）について報告され、10月の第2回理事会にて、案を提出することとなった。

⑪利益相反（COI）委員会：大住担当理事

配布資料にもとづき、学術集会におけるCOI開示について、新規フォームを第28回学術集会から使用することが報告された。

⑫広報委員会：川崎担当理事

配布資料にもとづき、HPの刷新を含めた2020年度活動報告、2021年度活動計画が報告された。

⑬国際委員会：田村担当理事

委員会開催、意見交換内容について報告された。

⑭遺伝カウンセリング委員会：杉本担当理事

オンラインカウンセリングについて、指針づくりを検討中であることが報告された。

⑮がんゲノム・データベース委員会：赤木担当理事

学術・教育委員会として報告された今年度の学術集会でオンデマンド配信される教育セミナーについて、学術集会後も視聴できるように検討予定であることが報告された。

また、へるす出版で電子書籍も発行が可能なので、今後検討していくこととなった。

⑯作業部会委員会：石川担当理事

部会設置に関する内規について、3年間の活動中は予算の持越しが可能とし、予算施行の計画書・予算報告書を作成し、次の理事会までに報告することとなった。

配布資料にもとづき、Cowden 症候群/PTE 過誤腫症候群に関する新規作業部会が申請され、審議の結果、承認された。

LFS 部会活動報告について、Cancer Science に掲載されたことが報告され、継続審査に関しては10月の理事会にて審査となることが報告された。また、田村智英子理事より、同部会のHPを作成中であることが報告された。

⑰遺伝性腫瘍研究グループ連絡協議会：石川担当理事

次のテーマが決まるまでは、休会とすることが承認された。

本学会が核となることに関して意見があれば、石川理事に連絡し、検討課題とすることとなった。

4. その他

理事長より、評議員の那須淳一郎先生より辞任依頼があったことが報告され、承認された。

第28回学術集会準備報告：田中屋会長より、テーマ、開催日程、開催形式について報告された。

また、学会事務局は日本コンベンションサービスに決定した。

第29回学術集会準備報告：杉本会長より、開催日程、開催場所について報告された。

青木理事より、次回理事会から、議事内容の確認のために前回議事録とその間に決議された通信理事会議事録を事前配布することが提案され、承認された。

第30回学術集會会長候補選出について、下平秀樹理事が会長として内定した。また、記念すべき第30回となるので、記念式典など検討することとなった。

5. 2021年度の理事会日程について

第2回 2021年10月15日（金）15:00～

第3回 2022年3月4日（金）15:00～

以上をもって議事の全部を終了し、議長は16時40分閉会を宣した。